

## 会計別予算額

会計名	平成30年度予算額	前年度比
一般会計	114億8,435万円	△4.1%
特別会計	68億4,857万円	△29.5%
国民健康保険事業	29億3,552万円	△17.4%
後期高齢者医療事業	7億9,399万円	△0.9%
介護保険事業	30億3,749万円	1.6%
工業団地造成事業	8,157万円	9,715.8%
企業会計	38億7,208万円	425.6%
水道事業	7億4,482万円	1.1%
下水道事業(※)	31億2,726万円	—
総合計	222億500万円	△1.0%

※平成30年度から、下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計は、下水道事業会計として一本化し、特別会計から企業会計に移行しました。

## 用語解説

**一般会計**……市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

**特別会計**……特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計です。

**企業会計**……民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

**市税**……市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税を総称したものです。

**国・県支出金**……いろいろな事業に対する国・県からの補助金、交付金などです。

**地方交付税**……全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。

**地方譲与税等**……国税として徴収された特定の税収を、一定の基準により市町村に譲与される税金や各種交付金などです。

**民生費**……高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。

**土木費**……道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

**総務費**……市の一般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。

**教育費**……小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

**公債費**……借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。

**衛生費**……ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

**商工費**……商業や工業、観光の振興などに使われます。

**消防費**……消防、救急活動などに使われます。

**農林水産業費**……農業や林業、水産業の振興などに使われます。

**扶助費**……社会福祉制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などの支援に必要な経費です。

**物件費**……委託料、光熱水費、消耗品費などの経費です。

**繰出金**……一般会計から特別会計へ繰り出される負担金などの経費です。

**人件費**……職員給与や議員への報酬などの経費です。

**補助費等**……負担金、補助金などの経費です。

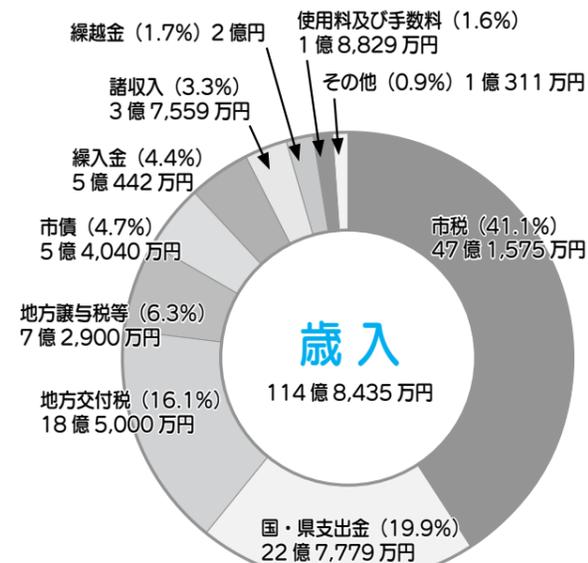
**普通建設事業費**……道路や公園、学校など公共施設を整備するための経費です。

# 一般会計

## 114億8,435万円

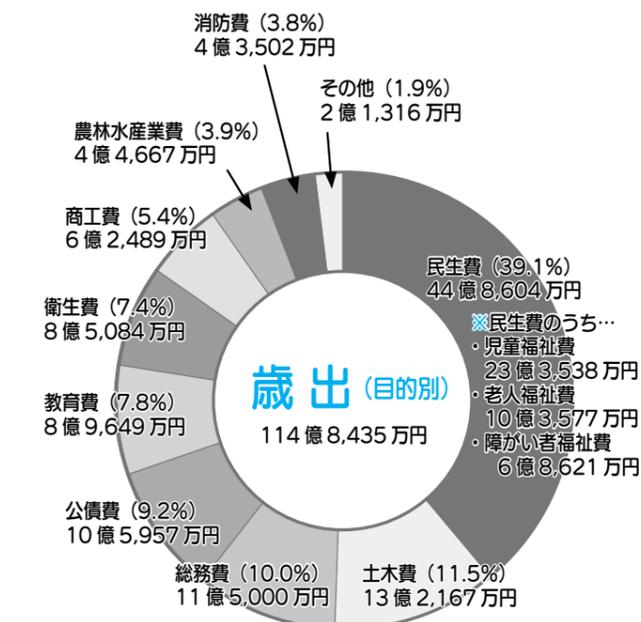
## 歳入

( )内は構成比



## 歳出

( )内は構成比



一般会計・特別会計・企業会計を合わせて

## 総額 222億500万円



### 歳入の特徴

個人市民税は前年度とほぼ同水準で推移すると見込まれるものの、法人市民税は企業が新たな設備投資などに資金を集中すると見込まれることなどから、前年度比15.4%減、固定資産税については、3年に1度の評価替えに伴い前年度比2.1%減と見込み、市税全体では前年度比2.6%減としました。一方で、第4次総合計画や「ひと・まち・産業創生総合戦略」に掲げる諸施策の実現に向けて、これまでの事業効果を適切に見極め、徹底した歳入の見直しを図りつつ、財政調整基金の取り崩しなどにより、財源の確保に努めました。

### 歳出の特徴

市制65周年を迎えるにあたり、総合計画に掲げるまちづくりの将来像「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を目指し、市民生活の向上や社会基盤の整備、産業の振興、教育文化の向上などを図る施策に取り組みます。

まず、第2子以降の保育料等完全無料をはじめ、小中学校医療費無料、子どもインフルエンザ予防接種助成、マタニティママ応援手当などの施策を継続して実施するとともに、障がい児支援事業や病児保育事業、産後ケア事業、孫とおでかけ支援事業など富山広域連携中枢都市圏の各種事業にも取り組み、「子ども第一主義」を推進します。

また、食育の継続に加え、生活習慣病予防や、がん検診の強化を含めた健康増進事業の推進、介護保険事業における地域支援事業のメニュー拡大など、全ての市民の充実した生活と「健康寿命延伸都市」の達成に向け各種施策を推し進めます。

一方、地方創生に向けた活性化策として、急速冷凍ホタルイカブランドの確立や海洋深層水を活用した天日塩の製造販売、8年ぶりとなる2隻体制での「はたるい海上観光」の実施、婚活支援事業や創業支援事業などを推進し、さらなる滑川ブランドの定着と定住人口の増加に努めます。

今年度が最終年度となる運動公園堀江自然ふれあい広場の整備や「公共施設等総合管理計画」に沿った各公共施設の予防的修繕を行うほか、市民生活の根幹となる上下水道事業や新たに中野島坪川線の道路改良に着手するなど通学路を中心とした道路などの整備を図り、市民生活の安全・快適性をさらに向上させます。

# 平成30年度 予算

の推進に向けて

「ひと・まち・産業が元気なまち滑川」

※8～9ページで、実際にどのような事業を行うか、主なものをご紹介します。

平成30年度の一般会計は114億8435万円、前年度比4.1%（4億9342万円）減、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は107億2065万円、前年度比2.5%（2億6480万円）増となりました。また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は222億5000万円、前年度比1.0%（2億2862万円）減となっています。

平成30年度予算は、「子ども第一主義」を基本とした、子どもを産み、育てやすい環境づくりや「健康寿命延伸都市」に向けた継続的な施策を実施するなど、総合計画に掲げる「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を推進するための政策的な経費と義務的経費を中心とした準骨格予算として編成しました。

平成30年度予算のうち、実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介いたします。(☆は新規・拡充事業)

## 「ひと」が元氣なまちづくり

### ☆防災行政無線施設整備

9,000万円  
J・ALERIT(全国瞬時警報システム)を新型受信機に更新します。また、防災行政無線のデジタル化に向け、調査・実施設計を行います。



### 第2子の保育料等完全無料

1億5,843万円  
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、全ての第2子の保育料や幼稚園授業料などを無料にします。(所得制限なし)

### ☆保育所等施設整備補助金

12,666万円  
市内私立保育所および認定こども園の施設整備に必要な経費の一部を助成します。

### コミュニケーションバス運行

3,812万円  
地域間の交流促進や高齢者など市民の交通手段を確保するため、年末年始の3日間(12月31日～1月2日)を除いて毎日運行します。

### ☆観光客誘致事業

7,422万円  
「キラリングルメの森」の開催により、「ご当地グルメのPR」などに取り組みます。また新たに、東京「日本橋とやま館」で生きたホタルイカの発光ショーを実施し、本市特産のホタルイカをPRします。急速冷凍ホタルイカについては、ブランド確立に向け、市場へ供給する方法などを引き続き探ります。

### ☆観光遊覧船運航

23,822万円  
観光遊覧船「キラリン」を使用した「富山湾岸クルージング」や、2隻体制で実施する「ほたるいか海上観光」における観光遊覧船の運航を行います。



### 子ども・妊産婦

医療給付 1億9,422万円  
妊産婦および中学校修了前までの子どもの入院・通院医療費を無料にします。(所得制限なし)

### 児童手当支給

5億2,890万円  
中学校修了前までの子どもの養育者などに手当を支給します。

### ☆手話のまちづくり推進事業

517万円  
聴覚障がい者への手話通訳による窓口対応に加え、各種手話施策の推進業務にあたる専任手話通訳者を1名配置します。



### 障がい者福祉利用券などの給付

411万円  
在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーの乗車チケット、コミュニケーションバスの乗車券を給付します。

### ☆橋梁・道路付属施設等長寿命化事業

4,840万円  
橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行います。また、橋梁や街灯・標識などの道路付属施設や路面を点検結果に基づき、計画的に改修します。

### ☆江尻高月線・中野島坪川線道路改良事業

9,200万円  
歩行者や車交通の安全を図るため、市道江尻高月線・中野島坪川線の道路改良工事を進めます。

### 都市計画街路整備事業

4,048万円  
都市計画道路加島町下島線の道路改良工事を、通学路の安全対策を推進します。

### 駅前再開発事業調査

1,000万円  
中滑川駅前および滑川駅前の再開発について調査・研究を実施します。

### ☆まちなか再生事業

3,579万円  
まちなかのにぎわいづくりのため、人口集中地区で住宅を取得される方や小売業などを開業する方への助成を行います。

### ☆高齢者生きがい事業

947万円  
第31回全国健康福祉祭「ねんりんピックとやま」マラソン競技の開催費用を助成します。また、高齢者の各種スポーツや文化活動への参加促進を図ります。



### 健康増進事業

8,331万円  
市民の健康増進を図るため、健康手帳の配布や健康教育、各種健康診査などを実施します。また、50歳から5歳刻みで75歳までの全市民を対象に、胃、肺、大腸がん検診の無料クーポン券を配布し、受診率の向上を図ることで、健康寿命延伸のまちづくりを目指します。

### 医療対策事業

5,000万円  
市内唯一の公的病院である厚生連滑川病院へ医療体制維持のための費用および病院の電子カルテシステム導入に対する費用を助成します。

### 空き家対策推進事業

9,222万円  
空き家などの適切な管理や活用を促進するため、所有者調査や緊急安全措置工事に加え、必要に応じて解体・除却支援を行います。

### 運動公園整備事業

9,004万円  
市民の憩いの場として、滑川運動公園「堀江自然ふれあい広場」の整備や、堀江球場側のトイレ設置工事を進めます。

### 下水道建設事業

9億6,318万円  
浄化センターおよび各中継ポンプ場の改築更新工事のほか、浜加積、早月加積、中加積、西加積地区において汚水管渠埋設工事を実施します。

## 「産業」が元氣なまちづくり

### 豊かな農村づくり推進事業

1,800万円  
農業の持続的発展・活性化を図るため、地域特産物の生産振興や土壌改良などによる品質向上対策、また、農業機械の導入助成など各種事業を実施します。



### ☆産婦健康診査事業

176万円  
産後間もない時期の全ての産婦に健康診査費用を助成し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備します。

### 未来につながる「食」と「農」の普及啓発事業

57万円  
地域における食育を推進するため、子どもたちが地域住民と一緒に農作業や料理作りを体験する講座を開催します。

### ☆特別支援教育推進事業

17,477万円  
特別支援学級の児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた指導と必要な支援を行うための環境づくりとしてタブレット端末を導入します。また、スタディ・メイトの配置も継続します。

### ☆展覧会等開催

4,877万円  
大正7年の米騒動から100年目にあたることから、全国各地へ飛び火する直接的なきっかけとなったとされる滑川での米騒動を紹介します。また、国の登録有形文化財になった市内旧町部の建造物の写真展などを開催します。



### 森林整備対策事業

910万円  
「水と緑の森づくり税」を財源とした里山林の整備や、森林病害虫対策などを進めます。

### ☆創業支援事業

144万円  
創業支援機関と連携し、市内で創業を希望される方の相談や融資の保証料の補給などの支援を行います。また、市内で初めて事業を始める創業者に奨励金を交付します。



### 工業振興対策

5,367万円  
工業振興を図るため、指定地域内における工場の新増設などに対して、固定資産税相当額を助成します。また、工場の電気・水道・情報通信設備などの整備・増強にかかる費用に対して助成します。

### ☆トップアスリート育成

464万円  
トップアスリートを招いた講習会や指導者養成を目的とした市民スポーツ大学、新たに屋内運動場を活用したトレーニング講習会などを開催し、ジュニアアスリートなどの育成や支援を行います。

### 夢の教室開催

227万円  
小学5年生、中学2年生を対象に、スポーツ選手などが「夢先生」として夢を持つことの大切さを教える「夢の教室」を開催します。

## 「まち」が元氣なまちづくり

### ☆市制65周年記念式典開催

450万円  
市制施行65周年を迎えるに当たり、記念式典の開催や市功労者に対する表彰を実施すること、節目となる年を市民のみならずと一緒に祝いします。



▲市制60周年記念式典の様子(平成25年11月)

### 富山広域連携中枢都市圏連携事業

### ☆富山市まちなか総合ケアセンターにおける各種事業

75万円  
成長や発達に気になる乳幼児期からの相談や支援に際しての利用料、病児保育室での保育看護を受ける際のタクシーでのお迎え費用の一部を助成します。また、出産後に不安を抱える母親の産後ケア応援室利用料の一部も助成します。

### ☆孫とおでかけ支援事業

150万円  
祖父母・孫、曾祖父母・ひ孫と一緒に博物館などの対象施設に来館すると、入館料・観覧料が無料になる「孫とおでかけ支援事業」で、「ほたるいかミュージアム」の入館料を負担します。

\* \* \*  
このほか、富山市の「TOYAMAキラリ」での小学生の教育普及や有害鳥獣の農作物被害軽減を目指し、効果的な対策を検討するなど、全部で12の事業を展開します。